

令和元年（2019年）10月15日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所  
国立研究開発法人海洋研究開発機構  
国立大学法人北海道大学

## 北極域研究推進プロジェクト（<sup>アークス</sup>ArCS）の公開講演会 『北極研究から見えてきたもの』を開催します

国立極地研究所（所長：<sup>なかむらたくじ</sup>中村卓司）が代表機関を、海洋研究開発機構（略称：JAMSTEC 理事長：<sup>まつながただし</sup>松永 是）および北海道大学（総長：<sup>なわとよはる</sup>名和豊春）が副代表機関を務める北極域研究推進プロジェクト（ArCS※1）では、2019年12月15日（日）に公開講演会『北極研究から見えてきたもの』を開催します。

### <開催概要>

2019年度北極域研究推進プロジェクト公開講演会

『北極研究から見えてきたもの』

日 時 : 2019年12月15日（日）13:00～17:15（12:30開場）

場 所 : 伊藤謝恩ホール（東京都文京区本郷7-3 東京大学本郷キャンパス  
伊藤国際学術研究センター B2F）

共同主催 : 情報・システム研究機構 国立極地研究所、海洋研究開発機構、北海道大学

参加方法 : ウェブサイトからの事前申し込み制

(<http://www.arcs-pro.jp/20191215kouenkai/>)

先着 350名、参加無料

主な対象 : 一般

内 容 :

この講演会では、SDGs（※2）を中核とする国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示されている自然環境、社会・経済、人間社会の持続性をキーワードに、ラウンドテーブル（※3）形式で、まもなく終了するArCSプロジェクトの研究結果を紹介しながら、日本が諸外国と協力して北極研究を続ける意義や、そのために重要なことについて話し合います。

ラウンドテーブル1：自然環境の持続性

ラウンドテーブル2：社会・経済の持続性

ラウンドテーブル3：人間社会の持続性

各ラウンドテーブルの話題提供の内容等、詳細は別添の公開講演会ちらしをご覧ください。

